

指標の達成度 目次

大目標 1	生活習慣病を予防します	1
大目標 2	総合的にがん対策を推進します	4
大目標 3	こころの健康を大切にします	6
大目標 4	女性の健康づくりを推進します	7
大目標 5	健康的で豊かな食生活を実践できる食育を推進します	8

指標の達成度 生活習慣病の予防

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度実績(達成度)	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
をメタボリックシンドローム該当者・予備群を減らすために、健康診査等	1 新宿区特定健康診査受診率	31.5%	平成22年度法定報告	50% ※第二期新宿区特定健康診査等実施計画に基づく	33.7% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さ、健康診査に対する関心の低さから、目標達成は難しい。今後も引き続き受診勧奨はがき、電話勧奨を実施し、受診意欲を促し、受診率の向上を図る。	33.0% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さから、目標達成は難しい。健康診査実施機関を医療機関に一元化したことの周知を徹底し、区民にとって分かりやすく、受診しやすい体制を継続し、受診勧奨はがき及び電話受診勧奨等の未受診者対策により受診者数の増加を図る。	33.6% (法定報告値)	新宿区の被保険者の流動性の高さから、目標達成は難しい。健康診査実施機関を医療機関に一元化したことの周知を徹底し、区民にとって分かりやすく、受診しやすい体制を継続し、受診勧奨はがき及び電話受診勧奨等の未受診者対策により、受診者数の増加を図る。	健康部健康推進課 健診係
	2 新宿区特定保健指導実施率	8.9%	平成22年度法定報告	40% ※第二期新宿区特定健康診査等実施計画に基づく	12.5% (法定報告値)	実施機関数の減少、利用時間が限定されることから、目標達成は難しい状況である。利便性の拡大及び保健指導プログラムの充実により、実施率向上を図る。	7.7% (法定報告値)	平成25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上により実施率の向上を図っている。目標値が高いため達成は難しい状況である。	14.1% (法定報告値)	平成25年度より民間事業者を導入し、保健指導プログラムの充実や利便性の向上により実施率の向上を図っている。目標値が高いため達成は難しい状況である。	健康部健康推進課 健診係
	3 メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率	計4,075人 (内訳) 該当者2,334人 予備群1,741人	平成20年度 該当者及び予備群実数	平成20年度比 10%減	計4,770人 (内訳) 該当者2,584人 予備群2,186人 (平成24年度健診データ)	計4,708人 (内訳) 該当者2,538人 予備群2,170人 (平成25年度健診データ)	メタボリックシンドローム該当者・予備群の該当者は増加傾向であり、達成は難しい状況である。今後、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	計4,873人 (内訳) 該当者2,828人 予備群2,045人 (平成26年度健診データ)	平成24年度よりやや減少したが、目標値が高いため達成は難しい状況である。引き続き、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	平成25年度より予備群はやや減少したが、該当者は増加した。目標値が高いため達成は難しい状況である。引き続き、健診受診体制や保健指導の充実、メタボリックシンドロームに関する正しい知識の普及に取り組んでいく。	健康部健康推進課 健診係
運動・スポーツ活動の習慣化を推進します	4 スポーツ・学習活動等を実施している人の割合	52.7%	平成23年度 区政モニターアンケート	60%	48.7%	現状数値と比較すると4ポイント下回っており、目標値(60%)には11.3ポイント達していない。	54.2% (平成25年度第4回新宿区政モニターアンケート)	平成24年度より5.5ポイント増加した。引き続き目標値(60%)達成を目指す。	52.9% (平成26年度第4回区政モニターアンケート)	平成25年度と比較すると、1.3%下回っているが、平成24年度と比較すると、4.2%増加している。引き続き目標値(60%)達成を目指す。	地域文化部 生涯学習コミュニティ課
	5 区立スポーツ施設利用者数(年間)	1,587,544人	平成22年度 【対象施設】 (1)新宿スポーツセンター (2)新宿コスミックスポーツセンター (3)大久保スポーツプラザ (4)元気館	1,637,000人	1,076,883人 (1)新宿スポーツセンター 341,631人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 576,416人 (3)大久保スポーツプラザ 79,777人 (4)元気館 79,059人	プール、大小体育室、会議室を中心に好調、プールは個人利用が伸長している。	1,088,326人 (1)新宿スポーツセンター 359,627人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 576,163人 (3)大久保スポーツプラザ 78,466人 (4)元気館 74,070人	(1)スポーツ教室の参加者増により前年度より増加となった。 (2)大雪や選挙会場としての利用の影響があったが、早朝のプール営業による利用者増もあり、前年度とほぼ横ばいとなった。 (3)庭球場改修の影響で前年度より減少した。 (4)大雪や台風による高齢利用者のキャンセルが多かった。	1,074,408人 (1)新宿スポーツセンター 364,474人 (2)新宿コスミックスポーツセンター 558,910人 (3)大久保スポーツプラザ 77,760人 (4)元気館 73,264人	(1)スポーツ教室の参加者及び個人利用者増により前年度より増加した。 (2)利用団体の規模の縮小により、前年度より減少した。 (3)出張レガスポ事業の実施回数の減により前年度より減少した。 (4)台風など天候不順による高齢利用者のキャンセルが多かった。	(1)(2)(3) 地域文化部 生涯学習コミュニティ課 新宿未来創造財団 (4) 健康推進課健康事業係

指標の達成度 生活習慣病の予防

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度実績(達成度)	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
適正飲酒の推進と喫煙者の減少をめざす	6 多量飲酒者の割合(毎日・1日3合以上飲酒)	[40～74歳] 男4.1% 女0.8%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減	[40～74歳] 男4.6% 女1.0% (平成24年度健診データ)	多量飲酒者の割合は横ばいであり、達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	[40～74歳] 男4.7% 女0.9% (平成25年度健診データ)	多量飲酒者の割合は横ばいであり、目標達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	[40～74歳] 男4.5% 女1.0% (平成26年度健診データ)	多量飲酒者の割合はほぼ横ばいであり、目標達成は難しい状況である。引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていく。	健康部健康推進課健診係
	7 喫煙者の割合 20～39歳 男女別 40～74歳 男女別	[20～39歳] 男35.2% 女14.0% [40～74歳] 男27.4% 女11.7%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減 [20～39歳] 男31.6% 女12.6% [40～74歳] 男24.66% 女10.53%	[20～39歳] 男31.4% 女12.7% [40～74歳] 男26.5% 女11.0% (平成24年度健診データ)	喫煙に対する関心の高まりにより、喫煙者の割合は減少傾向ではあるが、達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.6% 女13.6% [40～74歳] 男26.2% 女11.0% (平成25年度健診データ)	20～39歳で増加、40～74歳で横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.4% 女11.9% [40～74歳] 男26.1% 女10.9% (平成26年度健診データ)	20～39歳では女性の減少が目立っているが、40～74歳は男女ともほぼ横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	健康部健康推進課健診係
糖尿病の予備群・有病者を減らします	8 食べ物の量や組み合わせを考えて食べる人の割合	85.5%	平成23年度区政モニターアンケート	95%	81.7%	23年度と比較すると3.8ポイント下回っている。さらに、食生活に関する正しい情報の普及啓発を行っていく。	83.5%	平成24年度と比較すると、1.8%増加している。引き続き、望ましい食生活に関する情報の普及啓発を行っていく。	84.7%	平成25年度と比較すると、1.2%増加している。引き続き、望ましい食生活に関する情報の普及啓発を行っていく。	健康部健康推進課健康事業係
	9 肥満者(BMI25以上)の割合	[20～39歳] 男25.1% 女7.7% [40～64歳] 男33.1% 女13.2%	平成22年度健診データ	男性: 平成22年度比15%減 女性: 平成22年度比10%減	[20～39歳] 男24.3% 女8.4% [40～64歳] 男33.6% 女13.3% (平成24年度健診データ)	肥満者の割合は横ばいであり、達成は難しい状況である。食生活に関する知識の普及、保健指導の実施等により肥満者の減少を図る。	[20～39歳] 男21.6% 女6.7% [40～64歳] 男34.0% 女13.7% (平成25年度健診データ)	20～39歳では減少、40～64歳では増加傾向である。食生活に関する知識の普及啓発、保健指導や健康教室の実施等により肥満者の減少を図る。	[20～39歳] 男22.7% 女8.3% [40～64歳] 男32.2% 女14.0% (平成26年度健診データ)	平成25年度と比較すると、20～39歳では男女とも増加、40～64歳では男性は減少、女性は増加傾向である。食生活に関する知識の普及啓発、保健指導や健康教室の実施等により肥満者の減少を図る。	健康部健康推進課健診係
	10 糖尿病の予備群・有病者の割合	[40～64歳] [予備群] 男8.2% 女3.8% [有病者] 男9.6% 女3.0%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減	[40～64歳] [予備群] 男6.9% 女4.1% [有病者] 男9.7% 女2.7% (平成24年度健診データ)	糖尿病の予備群の割合は、男性で減少はしているが、達成は難しい状況である。今後、糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発を行う。また、高血糖改善のための保健指導を実施する。	[40～64歳] [予備群] 男5.9% 女2.9% [有病者] 男9.4% 女2.6% (平成25年度健診データ)	平成25年度より予備群の割合は男女とも1.0ポイント以上減少、有病者の割合も微減しているが、目標達成は難しい状況である。引き続き、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導及び健康教室を実施する。	[40～64歳] [予備群] 男6.3% 女3.0% [有病者] 男9.5% 女2.7% (平成26年度健診データ)	平成25年度と比較すると、予備群・有病者の割合は男女とも微増しており、全体としては目標達成に至っていない。引き続き、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、高血糖改善のための保健指導及び健康教室を継続するとともに、糖尿病重症化予防事業等を実施し、目標達成を目指す。	健康部健康推進課健診係

指標の達成度 生活習慣病の予防

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度実績(達成度)	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
口腔機能の維持・向上をめざします	11 歯の本数	25.2本	平成22年度新宿区歯科健康診査(60歳)	27本	26.2本 (平成24年度新宿区歯科健康診査:60歳)	目標値を達成。	26.1本 (平成25年度新宿区歯科健康診査:60歳)	目標値を達成。	26.2本 (平成26年度新宿区歯科健康診査:60歳)	当初目標値を達成しているため、目標値を26本から27本に上方修正した。	健康部健康推進課 健康事業係
	12 糖尿病が歯周病のリスク因子であることを知っている人の割合	—	—	50%	—	24年度は基礎データがないため評価できないが、25年度から、区政モニターアンケート及び歯科健康診査にて、調査を行う予定。	45.3% (平成25年度第1回区政モニターアンケート) 47.1% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	引き続き糖尿病と歯周病の関係に関する普及啓発を行っていく。	49.8% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	新宿区歯科健康診査の結果ではほぼ目標値を達成。最終年度に再度区政モニターアンケートで調査を行う。	健康部健康推進課 健康事業係
	13 進行した歯周病がある人の割合	[50歳]44.4% [60歳]52.6% [70歳]54.5%	平成22年度新宿区歯科健康診査	[50歳]38% [60歳]46% [70歳]49%	[50歳]48.5% [60歳]52.0% [70歳]52.6% (平成24年度新宿区歯科健康診査)	各年代で目標達成が難しい状況。歯科健康診査の年齢の拡充し、受診機会を増やすことで、目標達成を目指す。	[50歳]46.0% [60歳]53.8% [70歳]52.3% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	各年代で目標達成が難しい状況。定期的な健診受診者を増やすことで、目標達成を目指す。	[50歳]50.0% [60歳]46.9% [70歳]56.8% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	60歳では目標値に近づいたが、50歳、70歳では目標達成が難しい状況。引き続き定期的な健診受診者を増やすことで、目標達成を目指す。	健康部健康推進課 健康事業係
	14 歯間部清掃用具を用いた歯の清掃習慣のある人の割合	54.4%	平成22年度新宿区歯科健康診査	[40~64歳]65%	55.4% (平成24年度新宿区歯科健康診査)	現状では、目標達成が難しい状況。	55.6% (平成25年度新宿区歯科健康診査)	現状では、目標達成が難しい状況。	60.4% (平成26年度新宿区歯科健康診査)	4.8%増加。 29年度までに目標達成を目指す。	健康部健康推進課 健康事業係

指標の達成度 がん対策の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
がん予防を推進します	1 がんに関する正しい知識を持っている人の割合	—	—	50%	平成25年度第1回区政モニターアンケート※で調査予定	※区政モニターアンケート(登録依頼に対し、協力同意が得られた18歳以上の方)1000名を対象	「知っている」77.8% 「実践している」45.9% (平成25年度区政モニターアンケートでがん予防対策の12項目のうち、7つ以上知っている(実践している)人の割合)	「知っている」人の割合に比べ、「実践している」人の割合は少ない。正しい知識とともに、生活の中で実践に結び付けられるよう普及啓発を行っていく必要がある。	—	平成26年度はアンケート未実施。27年度に調査予定。	健康部健康推進課健診係
	2 再掲 喫煙者の割合 20～39歳 男女別 40～74歳 男女別	[20～39歳] 男35.2% 女14.0% [40～74歳] 男27.4% 女11.7%	平成22年度健診データ	平成22年度比10%減 [20～39歳] 男31.68% 女12.6% [40～74歳] 男24.66% 女10.53%	[20～39歳] 男31.4% 女12.7% [40～74歳] 男26.5% 女11.0% (平成24年度健診データ)	喫煙に対する関心の高まりにより、喫煙者の割合は減少傾向ではあるが、達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.6% 女13.6% [40～74歳] 男26.2% 女11.0% (平成25年度健診データ)	20～39歳で増加、40～74歳で横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	[20～39歳] 男32.4% 女11.9% [40～74歳] 男26.1% 女10.9% (平成26年度健診データ)	20～39歳では女性の減少が目立っているが、40～74歳は男女ともほぼ横ばいの状況であり、目標達成は難しい状況である。 引き続き喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていく。	健康部健康推進課健診係

指標の達成度 がん対策の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課
がんの早期発見・早期治療を推進します	3 胃がん検診受診率	10.3%	平成22年度検診の実績数値	50%	12.1%	22年度に比べ24年度受診率は全てのがん検診において微増したが、今だ低い状況である。受診率を向上させるためには、まずがん検診に関心をもってもらうことが必要と考えており、今後とも受診率向上に有効な受診勧奨の方法を検討し実行する。	11.0%	24年度に比べ25年度受診率は5つのがん検診において微減、前立腺がん検診において横ばいの状況である。これまでの受診勧奨方法では、受診率向上を目指すことが難しくなってきた。現状を分析し、有効な受診勧奨の方法を検討する必要がある。	11.6%	25年度に比べ26年度受診率は全種がんにおいて上昇した。27年度から新たな受診勧奨も始め、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康推進課 健診係
	4 大腸がん検診受診率	13.9%		50%	17.0%		16.4%		17.4%		健康部健康推進課 健診係
	5 肺がん検診受診率	11.9%		50%	12.8%		12.6%		13.3%		健康部健康推進課 健診係
	6 前立腺がん検診受診率	15.8%		50%	16.9%		16.9%		17.6%		健康部健康推進課 健診係
	7 子宮がん(子宮頸がん・体がん)検診受診率	15.3%		50%	16.3%		15.6%		17.9%		健康部健康推進課 健診係
	8 乳がん検診受診率	17.7%		50%	18.2%		17.3%		19.7%		健康部健康推進課 健診係
	9 胃がん精密検査受診率	40.9%	平成22年度区で把握している実績	70%以上	34.1%	精密検診受診率は低い状況である。その要因として精密検診は保険診療となり、受診費用が区検診に比べ、高いことが挙げられる。区検診で要精密となった方に対して精密検診の重要性を啓発する方法を検討する必要がある。	58.4%	精密検診受診率は目標に対して依然低い状況である。精密検査をけない理由として、多忙、診療費になるため負担増、心理的要因等が挙げられる。要精密となった方に対して、精密検査の目的と受ける意義を十分に理解してもらう方法を検討する必要がある。	62.6%	区に結果の報告がない者についての追跡調査の実施により、結果把握が進み、伴って受診率は大幅に向上した。今後も継続して行うことで、把握率の向上に努める。	健康部健康推進課 健診係
	10 大腸がん精密検査受診率	22.7%		70%以上	30.5%		57.3%		60.4%		健康部健康推進課 健診係
	11 肺がん精密検査受診率	34.0%		70%以上	35.6%		71.1%		71.5%		健康部健康推進課 健診係
	12 子宮がん(子宮頸がん・体がん検診)精密検査受診率	[子宮頸がん] 35.2% [子宮体がん] 14.3%		70%以上	平成24年度の子宮がん精密検査受診率は平成25年6月20日現在未把握 ※24年度実績 [子宮頸がん]58.8% [子宮体がん]22.6%		25年度の精密検査受診率は平成26年5月30日現在未把握 ※25年度実績 [子宮頸がん]52.2% [子宮体がん]44.4%		子宮頸がん49.6% 子宮体がん57.1%		健康部健康推進課 健診係
	13 乳がん精密検査受診率	28.6%		80%以上	27.8%		81.9%		67.0%		健康部健康推進課 健診係
	14 「緩和ケア」について知っている人の割合	26.5%		平成22年度新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査	40%		平成25年度新宿区高齢者保健と福祉に関する調査で質問予定		—		24.3%

指標の達成度 こころの健康

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
ますこころの健康づくりを支援し	1	ストレスを上手に対処している人の割合	76.2%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	85%	平成25年度第1回区政モニターアンケート※で調査予定	※アンケート区政モニター(登録依頼に対し、協力同意が得られた18歳以上の方)1000名を対象	78.6%(平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	健康部保健予防課
	2	十分な睡眠がとれていると思う人の割合	65.5%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	75.0%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	—	69.5%(平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	健康部保健予防課
援うつ等ますこころの不調への気づきや早期相談・早期治療を支	3	ゲートキーパー養成講座受講者数(累積実数)	731人	平成24年度1月現在累積実数	2,500人	1,238人	平成25もしくは26年度には目標達成見込み。	1,565人	平成25年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	1,856人	平成25年度末時点で平成29年度までの目標を達成したため、目標を当初の1,500人から2,500人に上方修正した。平成29年度までに新しい目標人数の達成を目指していく。	健康部健康推進課健康企画係
	4	こころの問題について気軽に相談できる場所・窓口を知っている人の割合	37.3%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	70%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	—	48.4%(平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	健康部保健予防課
	5	精神的に不調になったときにすぐに相談や治療を受けるとする人の割合	28.6%	平成22年度新宿区健康づくり区民意識調査	50.0%	平成25年度第1回区政モニターアンケートで調査予定	—	34.1%(平成25年度第1回区政モニターアンケート)	前回の調査より向上している。 ※但し前回とは調査の対象が異なるため注意が必要	-	平成26年度は実績の集計なし	健康部保健予防課

指標の達成度 女性の健康づくり

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
をを女 図整性 り備の まし健 す、康 正にし 関いす 知る拠 識の点 普施 及設	1	「女性の健康支援」に関するホームページへのアクセス件数(年間)	1,789件	平成22年度 ホームページアクセス数	3,600件	2,203件	24年度は22年度のホームページアクセス件数が、約23%増加した。	5,414件	女性の健康支援センターの開設や事業の拡充に伴い掲載内容を増やしたため、顕著に件数が増加し29年度までの目標は達成した。	8,156	女性の健康支援センター及び事業内容を詳細に掲載したことにより、アクセス数も順調に増加している。	健康部 四谷保健センター
	2	「女性の健康支援」に関するホームページの情報充実(累積)	1	平成23年度 ホームページコンテンツ数	6	1	25年度末の(仮称)女性の健康支援センターの開設と、事業の充実に併せて、ホームページコンテンツ数を増やしていく。	4	女性の健康支援センターの紹介、女性の健康講座、乳がん体験者の会などについての内容を増やした。	10	女性の健康支援事業を詳細に紹介する内容として、専門医師による医療情報等のコラムを掲載するなど、コンテンツ数を増やし、内容を充実させた。	健康部 四谷保健センター
活女 動性の 健康 をの 推進 しを 支え ます	3	「女性の健康づくり」に関する自主的な交流活動グループの設立や活動への支援	—	—	2団体	—	平成25年度から自主活動の体制づくりを行い、平成27年度までに、2団体設立する。	1団体	平成25年度に乳がん体験者の会を立ち上げ、会を開催した。	2団体	平成25年度に立ち上げた、乳がん体験者の会を継続し、平成26年度は、女性の健康づくりサポーターの会を立ち上げた。	健康部 四谷保健センター
す女性 特有 のがん 対策 を推 進し ま	4	再掲 子宮がん(子宮頸がん・体がん)検診受診率	15.3%	平成22年度 検診の実績数値	50.0%	16.3%	22年度受診比で1%受診率向上したが、目標値には達していない状況である。受診勧奨の工夫を図る。	15.6%	24年度に比べ25年度の受診率は減少した。受診勧奨方法の見直しと、これまで以上の工夫を図る必要がある。	17.9%	25年度に比べ26年度の受診率は向上した。検診票の一斉発送対象者を拡大したことが要因と考えられる。今後も受診勧奨を継続し、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康推進課 健診係
	5	再掲 乳がん検診受診率	17.7%	平成22年度 検診の実績数値	50.0%	18.2%	22年度受診比で0.5%受診率向上したが、目標値には達していない状況である。受診勧奨の工夫を図る。	17.3%	24年度に比べ25年度の受診率は減少した。受診勧奨方法の見直しと、これまで以上の工夫を図る必要がある。	19.7%	25年度に比べ26年度の受診率は向上した。検診票の一斉発送対象者を拡大したことが要因と考えられる。今後も受診勧奨を継続し、更なる受診率向上を目指す。	健康部健康推進課 健診係

指標の達成度 食育の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
生涯にわたって健康をつくる食習慣を実践します	1	食育に関心を持っている区民の割合	91.5%	平成23年度区政モニターアンケート	95%	92% (平成24年度区政モニターアンケート)	0.5%上昇。	91.1% (平成25年度区政モニターアンケート)	前年と比較し0.9%減少しているが、90%の割合を維持している。	90.1% (平成26年度区政モニターアンケート)	1%減少しているが、90%の割合を維持している。	健康部健康推進課 健康事業係
	2	毎日朝食を食べる子どもの割合	92.8%	平成23年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	95%	93.3% (平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	0.5%上昇。	91.7% (平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	前年と比較し1.6%減少している。	91.4% (平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	0.3%減少している。	健康部健康推進課 健康事業係
	3	甘味飲料をほぼ毎日飲む子どもの割合(3歳児)	30.9%	平成22年度3歳児歯科健康診査	20%以下	28.6% 平成22年度(3歳児歯科健康診査)	2.3%減少。	28.7% (平成25年度3歳児歯科健康診査)	前年と比較し0.1%増加している。	25.2% (平成26年度3歳児歯科健康診査)	3.5%減少している。	健康部健康推進課 健康事業係
	4	自分で料理を作ったり、手伝いをしたりする子どもの割合	19.1%	平成23年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	25%	18.1% (平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	1%減少。	21.1% (平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	前年と比較し、3%増加している。	20.7% (平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	0.4%減少しているが、20%の割合を維持している。	健康部健康推進課 健康事業係
	5	消費者講演会・懇談会等への参加者数(年間)	151人	平成22年度開催実績	180人	170人	24年度は講習会の回数が増えたため、目標人数に近づいた。29年度の目標値は予定通り達成する見込み。	261人	平成25年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	246人	平成26年度末時点で、29年度までの目標は達成済み。	健康部衛生課

指標の達成度 食育の推進

中目標	指標名	現状数値	現状数値の測定年度及び出所	29年度までの目標	24年度	達成状況の説明	25年度	達成状況の説明	26年度実績(達成度)	達成状況の説明	担当課	
食の大切さを見直し、食文化を継承していきます	6	5歳で箸が正しく持てる園児の割合	57.4%	平成23年度区立保育園・私立保育園・子ども園での実績	80%	59.6% (区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	食育ボランティアによる保育園での「箸の食育講座」などの取組みを実施。	59.8% (区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	微増ではあるが、増加している。	59.5% (区立保育園・私立保育園・子ども園での実績)	毎年ほぼ横ばいの状況にある。	子ども家庭部 保育園子ども園課
	7	食事を残さず食べるようにしている子どもの割合	68.0%	平成23年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート	80%	73.1% (平成24年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	5%上昇し、目標値に近づいている。	74.4% (平成25年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	前年と比較し、1.3%増加している。	71.4% (平成26年度新宿区立小学校及び中学校における食育アンケート)	3%減少している。	健康部健康推進課 健康事業係
	8	東京都産の農産物を3品目以上、学校給食に取り入れている小中学校数(年間)	9校	平成22年度学校給食実態調査	25校	18校 (平成25年度学校給食実態調査)	着実に増えている。	21校 (平成26年度学校給食実態調査)	前年と比較し、3校増加している。	26校 (平成27年度学校給食実態調査)	前年と比較し、5校増加している。目標を達成した。	教育委員会 学校運営課
食を通じたコミュニケーションをを広げます	9	食育ネットワークを構成する団体数	—	—	12団体	0団体	25年度からネットワークを立ち上げる。	10団体	ネットワーク準備会に出席した団体数。	10団体	ネットワーク準備会に出席した団体数。	健康部健康推進課 健康事業係
	10	友人、知人などと一緒に食事をする頻度が月2回以上の割合	62.0%	平成23年度区政モニターアンケート	80.0%	59.4% (平成24年度区政モニターアンケート)	2.6%減少。	63.8% (平成25年度区政モニターアンケート)	4.4%増加している。	63.6% (平成26年度区政モニターアンケート)	0.2%減少している。	健康部健康推進課 健康事業係